

熊本地震被災者の応援情報と物的支援

◆熊本地震被災者へのウェブ応援情報を発表中

2016年4月14日の熊本地震発生5分後に政府は非常災害対策本部会議を迅速に設置した。4月23日の安倍総理の被災地訪問や、5月11日までに25回開催された本部会議の災害対策の進捗と、所轄省庁が集約する震災被害と復旧情報を、「熊本地震被災者への政府応援情報」として官邸ホームページで公表している（表1）。また、ツイッターやフェイスブックにより震災SNSを開設している。

表1 熊本地震被災者の皆さまへ 政府応援情報(2016年5月6日現在)

支援情報の名称および日付	内容および提供方法など
熊本地震被災者応援ブック 発行4月28日、更新5月中旬予定	生活をとりもどすためのお役立ち情報、印刷配布版56頁PDFファイルのダウンロードとYahoo!電子書籍での無料利用
政府からのお知らせ(災害緊急対応) No.1～26(4月20日～5月6日現在)	支援物資・交通・インフラの状況、宿泊施設、医療機関の受診、生活の注意、損害補償手続き、電波情報の利用など
食品や生活用品等の物資の配送情報 4月17日～5月4日の実施状況	農林水産の被害と被災自治体の要請に基づく食料支援、国の判断による避難所避難者への緊急輸送(プッシュ型支援)
熊本県内の生活インフラの復旧状況と地域事業者へのアクセス情報	経産省、国交省、厚労省、総務省によるコンビニ・スーパー、ガソリンスタンド、電力・ガス・水道・交通・通信の情報
熊本地震被災者の皆さまへ政府応援情報のツイッター、フェイスブック	被災者支援の最新情報： https://twitter.com/kantei_hisai @kantei_hisai タグ：フォロワー11,000人
被災者の皆さまの生活に関する重要情報(税金、年金等の各種手続きを含む)	エコノミークラス症候群、熱中症、ノロウイルスの予防、自然災害に便乗した悪質商法や詐欺、空き巣等の注意など

出典：http://www.kantei.go.jp/jp/headline/saigai/kumamoto_hisai.html より作成

◆避難所へのプッシュ型支援を政府判断で緊急実施

熊本地震では、頻発する余震で避難所の生活が長引いている。そのため、被災地の自治体だけでは全ての物資を調達することが困難なため、政府は生活に必要なと見込んだ物資を避難所まで緊急輸送するプッシュ型支援を実施している(表2)。

食料品を除き、現在まで102品目の生活物資を輸送している。数量が10万個以上の品目は9種類、1万個から10万個未満の品目が14品目で、数量が1万個未満の品目が79と圧倒的に多い。今後、避難が長引く恐れがあるため、きめ細かい生活物資が必要になるが、継続対応できるか心配がある。また八代港停泊のフェリーで、1泊2日の食事・入浴サービスを始めたが継続利用には課題もある。

表 2 政府のプッシュ型支援の状況 (2016 年 5 月 4 日まで)

数量が 10 万個以上の 9 品目	単位(千個)	10 万個未満の品目
マスク	2,241	個数 1 万以上:14 品目(単位千個) 割りばし(68)、紙おむつ(乳児 60、大人 21)、ボディシート(59)、化粧水(51)、ビニールブルーシート(30)、生理用品(27)、化粧水シート(25)、手指消毒液(25)、下着(21)、タイルカーペット(20)、スキンケアセット等(19)、エチケット袋(18)、箱ティッシュ(10)
紙コップ	1,076	
紙皿	210	
簡易トイレ(便袋、テント、消耗品含む)	204	
下着類	200	
ペーパータオル(ウェットティッシュ)	180	
土嚢袋	140	
ハンドソープ(本体及び詰替え)	128	
毛布	120	
		その他、個数 1 万個未満:品目数 79

出典：内閣府 <http://www.bousai.go.jp/jishin/kumamoto/pdf/02.pdf> より作成

◆多様なニーズをすくい取るスマホの応援情報と物的支援

東日本大震災以降、テレビ局では地震番組をインターネットで配信し、通信キャリアや検索サイト、SNSでは安否確認や災害情報のモバイル端末サービスを提供している。特に熊本地震ではスマホによる応援が広がっている（表3）。

表 3 民間企業による被災者への応援情報と支援の例

提供者および、応援情報名	内容および提供方法など	支援品目の例
Amazon たすけあおう Nippon	被災者のほしい物リストにある物資を、支援者が Amazon で購入するとヤマト運輸が避難所に配送する	ホワイトボード、ウォッシュャブル枕、綿靴下
Yahoo! JAPAN ネット募金	クレジットカードや T ポイントで熊本地震に寄付すると Yahoo!が同額を寄付して募金の額が 2 倍になる	5月6日時点の実績 48 万人、468 百万円
トヨタ自動車 通れた道マップ	直近約 24 時間の通行実績情報を 1 時間毎、渋滞情報を 10 分毎に、交通規制情報を無償で提供している	ウェブサイトの道路マップで交通情報更新
通信大手 3 社 00000JAPAN	被災地の公衆無線 LAN でネットワーク名 (SSID: 00000JAPAN) を選択して無料で使える	ショッピングセンタ、コンビニ、公共施設
NTTドコモ他 充電サービス	役場、小学校、公民館に充電機を貸出し、スマホの無料充電サービスが分かる被災地の拠点地図を公開	多数のスマホが同時充電できるスポット

出典：各社 Web サービスより作成

アマゾンでは被災者が希望した物品リストを見て支援者がネット購入するとヤマト運輸が避難所まで配送する。ヤフーは支援者がネット募金した金額と同額を上乗せしたり、ネット利用して得たサービスポイントで募金するサービスを始めた。スマホで電力、水道、ガスや病院、入浴施設、コインランドリ等の生活情報を利用できるよう、無料のWi-Fi接続や充電サービスを通信事業者が提供している。

スマホでの被災者の応援や支援は官民連携で進化してほしい。 【大島正明】